

# 議会報告会 報告書

彦根市議会議長 谷口典隆 様

議会報告会 A 班  
宮田茂雄

開催日時	平成26年4月26日(土) 14時00分～15時35分
開催場所	彦根市民会館 第2会議室
出席議員	議員氏名(役割) <ul style="list-style-type: none"> <li>・山田多津子(班長) 総括</li> <li>・北村 收(副班長) 司会進行</li> <li>・小川喜三郎 受付 報告</li> <li>・安藤 博 報告</li> <li>・宮田茂雄 記録 報告</li> </ul>
参加者数	20人
内容 (内容及び 時間配分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶、メンバー紹介等 14:00～14:05 5分間</li> <li>・報告 14:05～14:35 30分間</li> <li>・質疑応答 14:35～15:30 55分間</li> <li>・閉会挨拶 15:30～15:33 3分間</li> </ul>
主な質疑応答、 議会への意見	<p>Q：地方債残高について、今年度一般会計385億円に対し1027億円もあるが健全財政と言えるのか？</p> <p>A：将来交付金として返ってくる臨時財政対策債を除くと850億円、H18年度実質公債費比率が23.3%と最悪であったが下水道事業抑制などで返済してきた結果2頁表のように右肩下がりで減ってきている。H24年度は11.7%まで回復したが今後も努力が必要である。</p> <p>Q：新修彦根市史通史編現代は市監査委員会から年末までに発刊せよとの勧告が出されているが議会としての考えは？</p> <p>A：12月、3月議会で何故発刊しないのかなど質問、監査委員会勧告や世論の盛り上がりから発刊せざるを得ないとの市長の判断や調停中でもあり今後の市の対応に注目していく。</p> <p>Q：新修彦根市史通史編現代はこれまで多くの費用を使った成果なのに行政のフィルターを通したらふさわしくないで発刊しないとのことに対して、議会としてどのような役割を果たしているのか？</p> <p>A：各議員からそれぞれ発言があった。(調停や監査委員会の勧告を尊重し発刊を望む発言多し)</p> <p>Q：市史の編纂は専門家に任せたのであり成果を尊重すべきであるのに行政フィルターを掛けるのは納得できない、市民の運動で発刊の</p>

	<p>方向を向いた、議員はしっかり市民の意見を代弁するべきである。</p> <p>Q：介護保険基盤事業での補助基準はどのようにして決めているのか？ また、現在は80歳以上の人でも元気なので地域力(ボランティア)として活かし人件費を削減するよう議論すべきである。</p> <p>A：介護保険事業では3カ年の整備計画を立てる中で、介護施設の整備をしてくれる事業者を選定しており、費用の全額が国と県からの補助金である。</p> <p>(以 上)</p>
市への要望等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芹川河口付近に砂が溜まっているので除去して欲しい。</li> <li>・ 年金が減らされる一方で保険負担金や消費税が上がり大変、何とかして欲しい。(共済年金は2.5% 恩給は一度に10%も下げられた)</li> <li>・ 船町交差点付近は深夜、付近の照明も消えて真っ暗になるため、街灯を設置して欲しい(自治会からも要望を出されるよう回答)。</li> <li>・ 旧カネボウ跡の芹川堤防沿いに2 m幅の水路があるが土砂で埋まり魚も遡上できない、取り除いて欲しい。</li> <li>・ 新修彦根市史通史編現代は出来るだけ早期に発刊して欲しい。</li> </ul> <p>○ 要望については(国県所管分も含めて) 議会全体でとりまとめ、市民の声として市担当課へ伝える旨回答済み。</p> <p>(以 上)</p>